

1. 目的

枚方市立学校における部活動の受け皿として、枚方市地域クラブ活動（以下「地域クラブ」という）に認定し、支援することにより、中学生等のスポーツ・文化芸術に親しむ環境の充実を図るとともに、生涯スポーツ・生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。

（1）枚方市地域クラブ活動の定義（案）

地域クラブの活動には、学校と連携して活動を行うことで、部活動の教育的意義を継承・発展させていくことを求めている。

【枚方市地域クラブの定義】

- ・学校部活動から地域展開をめざしたクラブであること
- ・学校と連携して、認定要項を踏まえた活動をする
- ・目的、運営方法、活動内容等が記された規約等を作成すること
- ・勝利至上主義に陥ることなく、営利目的を主とした運営ではないこと

具体的には、「枚方市地域クラブ認定要件確認書」の要件を、全て満たした活動を行う地域のクラブを、枚方市地域クラブ活動として認定することとしている。

（2）市の認定を受けると……（案）

ア 設立3年未満の団体は、大阪府中学校体育連盟主催の大会にエントリーすることができる。※

イ 市教委（学校）と協議し許可を得ることで、学校施設を利用して活動する

ウ 学校の新入生説明会や、新入生のオリエンテーション等で紹介する

エ 生徒の募集案内や、連絡等の文書を各学校に配布する

オ 市がホームページ等で地域クラブの紹介をする 等のことが行えます。

※各種大会の参加については、各競技団体の参加規定を確認する必要があります。

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）

学校部活動の地域連携

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



調査票内呼称：
「地域連携」

学校部活動の地域連携

■合同部活動の導入や部活動指導員等の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 （※アスリート・アーティスト等の人材を含む）
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■少子化の中、持続可能な体制にする必要
（学校や地域によっては存続が厳しい）

■地域の実情に応じた段階的な体制整備

地域の実情に応じ、当面は併存

地域クラブ活動

【位置付け】学校と連携して行う地域クラブ活動
（法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術）

■地域の多様な主体が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	①地方公共団体（※複数地方公共団体の連携を含む） ②多様な組織・団体（総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者（一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

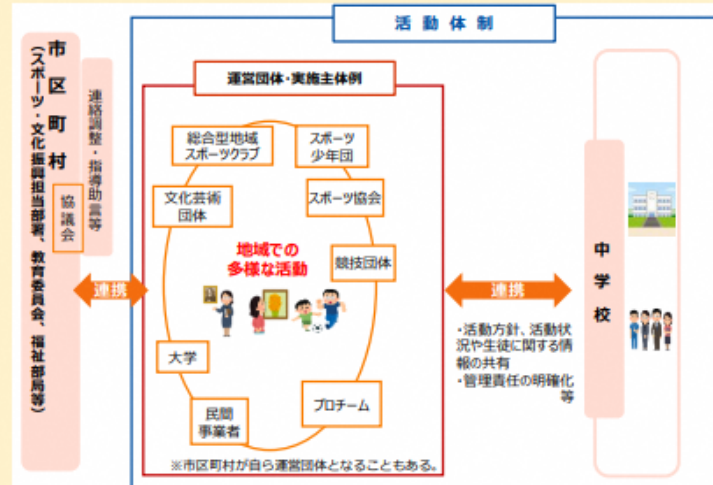
調査票内呼称：
「地域移行
（地域展開）」
ならびに
「地域クラブ活動
への移行」

【枚方市】

①型
統括団体による運営型

③型
自由体験型

④型
市認定クラブ



【枚方市】

②型
学校部活動・地域クラブ活動組み合わせ型

(3) 認定の手順(案)

- ① クラブの責任者は、(様式2)「枚方市地域クラブ認定要件確認書(案)」の全ての認定要件を満たしていることを確認し、必要事項を記入する。



- ② クラブの責任者は、(様式2)「枚方市地域クラブ公認申請書」に必要事項を記入し、(様式1)「枚方市市地域クラブ認定要件確認書」、規約等の写し、保険加入書の写しを添付して、市教育委員会教育指導課へ提出する。



- ③ 市で記載内容をチェックし、認定要件を満たしていることを確認し、団体責任者とヒアリングを行う。



- ④ 市は申請団体を「枚方市地域クラブ」として認定する。